

学習内容報告書 フォーマット

学校名	北区立東十条小学校
授業者	秋山 希

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海と人とのかかわり 「プランクトンをさがせ！チリメンモンスターの世界」

1-2. 学年

第4学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

海育科

1-4. 単元の概要

1月22日・23日に行われた1泊2日の4年北区岩井移動教室において、お茶の水大学湾岸生物教育研究センターの協力を得て実施。

ちりめんじゃこを用いて、海洋プランクトンについて学ぶ。プランクトンについて正しく理解し、海での役割や重要性、食物連鎖について理解を深める。

ちりめんじゃこの中に混ざっている小さな生物を「チリメンモンスター」として探すことで、海の生き物についての興味を深める。また、生き物を探すことで、身近な海にもいろいろな生物が生きている環境があることに気づかせる。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

- ・家庭や給食でも出てくる身近な「ちりめんじゃこ」を用いることで、海洋プランクトンについて理解をしやすくする。
- ・ちりめんじゃこに混ざっているプランクトンを仲間分けしてキーホルダーづくりをすることで、プランクトンにも様々な種類が存在することや、生物の多様性について理解をする。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・海への親しみをもち、海に関心をもとうとする。
- ・自分たちの生活が海と深く関わっていることに興味をもち、分かろうとする。

1-7. 単元の展開（全3時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・プランクトンとはどのようなものか知る。 ・ちりめんじゃこ、チリメンモンスターの探し方を知る。 ・チリメンモンスターを観察する。 ・お気に入りのチリメンモンスターを見つける。 ・学習の振り返りをする。 	<p>お茶の水大学湾岸生物教育研究センター職員からの説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チリモン ・シャレー ・ピンセット ・教材資料

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- ・海に存在する海洋プランクトンについて興味をもつ。
- ・海洋プランクトンは、食物連鎖において重要な役割を担っていることから、自分たちの生活にも関わっていることを理解する。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1 プランクトン（海洋プランクトン）とはどのようなものか知る。 ・小さい生物 ・目に見えないもの ・魚のえさになる	・事前に、ちりめんじゃこ、ピンセット、虫眼鏡、シャーレを用意する。 ・資料を用いて、プランクトンについて理解させる。
2 ちりめんじゃこ、チリメンモンスターの探し方を知る。 ・食べたことはあるけど、どうやって作るのかな。 ・イワシの子ども以外にどんなプランクトンがいるかな。	・ピンセットの使い方、注意事項を確かめる。 ・見つけたチリメンモンスターは、図鑑を用いて調べ、記録することを伝える。
3 チリメンモンスターを観察する。 ・これはオキアミの仲間かな。 ・イカも見つけた。 ・ウミホタルも見つけたよ。	
4 お気に入りのチリメンモンスターを見つける。 ・ぼくは、タツノオトシゴとメガロパ幼生とカタクチイワシをキーホルダーにしよう。 ・岩井学園限定のウミホタルを入れたいな。	
5 学習の振り返りをする。 ・プランクトンについて初めて知ることができた。 ・ちりめんじゃこをよく見てみると、こんなにたくさんのプランクトンがいるなんてびっくりした。 ・プランクトンは、海の中で大切なものだと分かった。	・食物連鎖にとって重要な役割を担っていることから、私たちの生活においても欠かせないということを押さえる。

3. 今回の活動の自己評価

- ・ちりめんじゃこという身近な食べ物を通して、海洋プランクトンの生態について理解を深めることができる本活動は、大変有意義なものだと感じた。
- ・食物連鎖の下位の生物であるプランクトンの観察を通して、海の生き物や私たち人間の生活が小さなプランクトンによって支えられていることを実感しやすかった。

4. 今後の課題

- ・教材提供や指導をお茶の水女子大学にお願いしている状態のため、今後の継続を考えたときに自校でも指導ができるように準備をしていかなければならないか。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・お茶の水女子大学との連携の継続





※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm